

■（１６１）あれから３年、今春の卒業式で合唱する歌は

東日本大震災から３年。津波による停電で漆黒の闇となった中、あの日の夜空は別世界だった。その満天の星空を再現したプラネタリウム映像を仙台市天文台が作ったという記事があった。「流れ星は天国に向かう魂…」。被災した女性教員の言葉が朗読で重なる。

卒業式シーズンだった。難を逃れた高台の中学校は翌日に式を控えていた。恐ろしさを紛らわすように３年生が歌い始めた卒業ソングは夜の校舎全体に広がった。人気グループEXILEの「道」などだ。川嶋あいさんの「旅立ちの日に」を式で歌うはずだった学校もあった。歌に勇気づけられたのは、学校だけではない。救援活動の拠点となった自衛隊基地では、長渕剛さんが「とんぼ」などを熱唱した。ラジオでは、中島みゆきさんの「時代」が流れた。そんな歌やライブ映像に再び接したり、プラネタリウムの再現映像を見たりすると、大混乱だった震災直後の状況が記憶に呼び起こされる人も少なくないだろう。

被災３年の卒業ソングは何か。原発事故の影響で最後の卒業生を送り出して休校となる学校もある。被災校舎の高台移転は被災４年目でようやく第１号だ。復興はまだ遠い。(山)